

平成23年2月  
袋井市議会定例会  
一般質問通告内容

袋井市議会

**＝本会議インターネット放映のお知らせ＝**

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。  
袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

## 一般質問通告議員

3月1日（火）

【午前質問予定の議員】

ページ

1番 寺 田 守 議員 …… 1

2番 芝 田 禮 二 議員 …… 2

3番 大 庭 通 嘉 議員 …… 3

【午後質問予定の議員】

4番 寺 井 紗 知 子 議員 …… 4

5番 寺 井 雄 二 議員 …… 5

6番 浅 田 二 郎 議員 …… 6

3月2日（水）

【午前質問予定の議員】

7番 高 橋 美 博 議員 …… 7

8番 大 場 正 昭 議員 …… 8

9番 竹 原 和 義 議員 …… 10

【午後質問予定の議員】

10番 兼 子 春 治 議員 …… 11

11番 山 田 貴 子 議員 …… 12

12番 永 田 勝 美 議員 …… 13

3月3日（木）

【午前質問予定の議員】

13番 高 木 清 隆 議員 …… 14

質問順序	1	議席番号	6	質問者	寺田守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 地域資源について</b></p> <p>地域資源の掘り起こし、活用について</p> <p>(1) 地域資源に光を当てる市民の活動が盛んになっているが、どのように評価しているか。</p> <p>(2) 地域資源の掘り起こしには、生涯学習課に期待するところが大きいですが、支援はどうか。</p> <p>(3) 可睡斎護国塔など文化財の案内看板が老朽化しているものがあるが、リニューアルの計画はあるか。</p>					
<p><b>2 学校給食について</b></p> <p>6次産業の振興と地産地消による米粉の活用について</p> <p>(1) 小・中学校の給食に米粉パンを採用し、地産地消を図ったらどうか。</p> <p>(2) 給食センターで米粉を使った料理の研究をしていただきたいがどうか。</p>					
<p><b>3 情報発信について</b></p> <p>電子媒体が普及している中での行政の対応について</p> <p>(1) 市のホームページの利用促進について、さらに工夫が必要ではないか。</p> <p>(2) 自治会や公民館など情報伝達手段として、メール送信の活用を考えているか。</p>					

質問順序	2	議席番号	13	質問者	芝田 禮二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 農業振興について</b></p> <p>日本農業、袋井市農業の存亡がかかるT P P（環太平洋戦略的経済連携協定）に参加ありきで進んでいるが、もっと熟議をすべきではないかと思えます。</p> <p>(1) 市長は、袋井市年賀交歓会の年頭のあいさつでT P P参加すべしの表明をされたが、改めてその真意を伺う。</p> <p>(2) T P Pに参加することで自給率が40%から14%に下がり、農業生産額が4兆円下がると農水省は試算されている。袋井市農業の試算はどうか、数値で伺う。</p> <p>(3) 刻々と変化する中で、市長の言う持続可能な安定した農業と乖離していくばかり、袋井市農業ビジョンとの整合と本市の進むべき農業のあり方、生き残りをどのように進めようとされるのか伺う。</p> <p>(4) 袋井市農業の実態、経営の方向性を把握するためにも実態調査をすべきだと思うがどうか伺う。</p>					
<p><b>2 消防団員確保について</b></p> <p>全国的な問題でもあるが、消防団員確保が地域の理解が得られず一部には廃団の危機が迫る。浅羽方面隊消防団と地域の安心・安全を守るために。</p> <p>(1) 市長は、最高責任者として浅羽方面隊第1、浅羽方面隊の第2分団の現状をどのように理解されているのか伺う。</p> <p>(2) 浅羽方面隊第1、第2分団において、いつでも水が出せるようOBの協力が得られる特区の検討をされたいがどうか。</p> <p>(3) 各分団員は、自治会と協力して団員確保に涙が出るほど頑張っております。自治会役員も団員と同行してお願いに上がっておりますが、理解が得られていない。OBや参加可能な方の協力を仰ぎ、機能別消防制度の導入を図るべきだと思うがどうか。</p>					

質問順序	3	議席番号	21	質問者	大庭通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 政治姿勢について</b></p> <p>後期総合計画の初年度を迎えて</p> <p>(1) 「前期」総合計画5年間の総括と「後期」総合計画の推進、事業の優先順位について 施政方針について</p> <p>(2) 行政が求める市民の力・地域の力とは。</p> <p>(3) 個人情報保護のあり方（条例の見直し・マニュアル作成）</p> <p>(4) 定員適正化計画について（計画の未達の分析と今後の展開）</p> <p>(5) 早期退職増加に対する見解と人材育成に関する職員アンケートの活用について</p> <p>(6) 愛知のトリプル選挙を受けて（減税の可否）</p>					
<p><b>2 文化行政について</b></p> <p>歴史文化の顕彰、振興策について</p> <p>(1) 浅羽支所に開設する（仮称）歴史文化館の位置づけと今後について</p> <p>(2) 文化財の総棚卸しと整理・活用について</p> <p>(3) 博物館建設について</p> <p>(4) 文化協会等から出されている要望書について</p> <p>(5) 袋井市の歴史物語づくりとITライブラリー化について</p> <p>(6) 袋井市の市史編さんと文化財審議会の充実について</p> <p>(7) 澤野記念館10周年の総括と今後の充実した展開について</p>					

質問順序	4	議席番号	22	質問者	寺井紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 パートナーシップについて</b></p> <p>施政方針で強調されているパートナーシップ（協働）について</p> <p>(1) 将来像とは。  (2) 「市民の力・地域の力」の定義  (3) 市民力向上について、どんなことが必要と考えるか。  (4) まちづくり基本条例の制定について</p> <p>これまで行われてきた協働まちづくり事業の振り返りと課題</p> <p>(5) 総括について  (6) 協働まちづくり事業の制度について  (7) 「協働」の意識の醸成について  (8) 実施スケジュールに問題はないか。</p>					
<p><b>2 高齢社会における行政運営について</b></p> <p>安心して暮らせる生活環境に必要なことは。</p> <p>(1) 行政の目線はどこに。  (2) 急ぎ課題の把握を。</p>					
<p><b>3 女性消防団について</b></p> <p>女性消防団に期待される役割は拡大している。</p> <p>(1) 現状とその必要性についてどう考えるか。</p>					
<p><b>4 在宅医療について</b></p> <p>「袋井市保健・医療・介護構想」に位置づけられたセンターへの提案</p> <p>(1) 訪問診療をどう考えるか。  (2) 訪問診療で在宅医療を充実させることができるのではないか。</p>					

質問順序	5	議席番号	7	質問者	寺井雄二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 消防団問題について</b></p> <p>団編成について新入団員の確保が厳しい中、消防力を保つ組織づくり</p> <p>(1) 団員定数はこのままでよいのか。再編を考えているのか伺う。  (2) 消防団団員確保について、確保が困難な課題について調査等されるべきではないか伺う。  (3) 地域性の団員確保体制はできないか、若者の減少化等による確保ができないか伺う。  (4) 対象年齢に達している若者に対して、消防団への理解を求めするために分団予備的組織を設けることについて伺う。  (5) 企業に対して協力組織の立ち上げを行い、協力企業に対し減税対策ができないか伺う。</p>					
<p><b>2 福祉施設について</b></p> <p>老人福祉施設白雲荘は、高齢者の憩いの場、また、健康管理の場として利用されて、年配者の唯一の場所である。</p> <p>(1) 利用度をどのように理解をされているのか伺う。  (2) 風見の丘と白雲荘とを、どのように運営をされようとしているのか伺う。</p>					
<p><b>3 介護保険料について</b></p> <p>日本一健康文化都市を目指す袋井市、介護料が県下一であるが、健康事業への取り組みを積極的に行い、健康日本一を目指す。</p> <p>(1) 次期保険料の計画見通しについて伺う。  (2) 県下一保険料対策はされているのか伺う。</p>					
<p><b>4 行政組織について</b></p> <p>行政組織は市民に対し、わかりやすい組織にすることが住民に対する最大サービスである。</p> <p>(1) 平成23年度行政組織機構が一部変更され、維持管理課管理部門が建設課に統合されるが、自治会等の要望処理については問題ないか伺います。</p>					

質問順序	6	議席番号	17	質問者	浅田二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 消費税増税容認発言について</b></p> <p>1月4日年賀交歓会で、市長は、新聞論調を引き合いに「私もそう思う」と、消費税を引き上げに賛成である意思を表明された。</p> <p>(1) 発言の意図について  (2) 消費税増税の影響について  (3) 消費税制度の基本的認識について</p>					
<p><b>2 地域と協働の取り組みについて</b></p> <p>「市民と行政のパートナーシップの推進」「協働のまちづくり」などが強調され、大きな行政課題と位置づけられている。しかし、真に地域コミュニティー・地域力の強化につながるか心配である。</p> <p>(1) これまでの取り組み、とりわけ旧浅羽地域での地域コミュニティーの後退への反省について  (2) 効率性を最優先し、経費の節減を「協働」の目的とすることについて  (3) 行政の責任転嫁、行政の押しつけについて</p>					
<p><b>3 資源ごみについて</b></p> <p>ごみの減量化を基本に、リサイクルを適切に進めるために改善を求める。</p> <p>(1) バイオマス資源や生ごみ・剪定枝・下水汚泥等の生物資源の利活用について  (2) 利活用に即した資源ごみの分別方法について  (3) 資源ごみ収集場所の増設等、弱者のごみ出し対策について</p>					



質問順序	7	議席番号	18	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 環太平洋連携協定（TPP）について</b>  環太平洋連携協定は、袋井の農業にも重大な影響を与えることは必至と考える。改めて市長の見解を伺う。  (1) 賛成とする根拠はどこにあるか。袋井市への影響をどう考えているか。</p>					
<p><b>2 農を活かしたまちづくり事業について</b>  今年度打ち出した「農を活かしたまちづくり」の各事業の成果と今後の展開を伺う。  (1) 小学校給茶器設置事業  (2) 農を活かした授業づくり事業  (3) 農産物直売所開設事業  (4) 市民農園整備事業  (5) ふくろい特産物宣伝隊支援事業</p>					
<p><b>3 新規就農者支援について</b>  農業の担い手が高齢化や減少しているが、一方では非農家出身者の農業参入希望者がふえているが、こうした人を対象とした支援ができないか。  (1) 県の「がんばる農業人支援事業」と連携し、市内で研修受け入れができる体制、制度を設ける考えはないか。  (2) 農業参入希望者の状況によって農地取得基準の弾力化ができないか。</p>					
<p><b>4 公文書管理法施行への対応について</b>  本年4月より公文書管理法が施行となるが、本市では運用制度を見直す必要がないか。  (1) 本市の公文書管理規程・体制はどうなっているか。  (2) 保存文書は目録作成などデータベース化されているか。  (3) 進歩し増加する電子データへの対応はどうか。  (4) 条例制定や運用規程の改定は必要ないか。</p>					
<p><b>5 (仮称) 歴史文化館について</b>  本市で予定されている浅羽支所への設置について市の考えを伺う。  (1) 市として文化財の展示・保存の方向性、全体像を明らかにすべきではないか。  (2) 公文書管理との関係が明確にされていないのではないか。  (3) 所管・体制をどう考えているか。  (4) 専門職員の配置や有識者等との連携が必要ではないか。  (5) 古文書等の未整理資料は現時点でどれだけあるか。  (6) 開設にあたり、条例・規則の制定など今後の準備スケジュールはどうか。  (7) 市民の利用する生きた施設とするための方策はどうか。</p>					

質問順序	8	議席番号	16	質問者	大場正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 新年度予算編成について</b></p> <p>「万全な医療体制の構築」と銘打っての新病院建設に伴う予算、「待機児童ゼロ作戦」とネーミングし、市民からの要望が多いものを取り上げた。これらをどのように推し進めていくのか。</p> <p>(1) 初めに、総合計画、後期計画のスタートに当たっての原田市長の決意を伺う。また、23年度の予算編成を行っての所感。総括的な感想はどうか。</p> <p>(2) 現在の景気・経済の状態をどう感じているのか。国においても、予算が成立しなければ、私たちの生活にも影響がある。我が市に影響あるものは、何が考えられるか。子ども手当などのほかに、どのようなものがあるか。また、現在、市としてどのような対応をしているのか。</p> <p>(3) 平成23年度の重点戦略とその目標、さらには、その目標値はどうか。新規事業や継続事業が数多く予算計上されているが、特に推進を図っていきたい事業は何か。また、重要な柱の一つである「農を活かしたまちづくり」における具体的な取り組みは。</p> <p>(4) 行政経営方針における初年度の取り組みは、具体的に伺う。市民と行政のパートナーシップは、人づくりである。職員の意識改革をどのようにしていくのか、さらには、市民の意識改革も大切と思うが、その取り組みはどうか。</p> <p>(5) まちづくりは「市民の力・地域の力」と言うが、市民のよりよい参加・参画を促すよい方法はあるのか。新しい仕組みの提案も大切であるが、市民にどのように説明し、理解を得ていくのか。</p> <p>(6) 自治会や自治会連合会へのお願いも多くなり、大変である。NPO法人や市民活動団体等との協働、連携も大切である。さらに、それらに準ずる形や新たな協働の形も必要となるが、それらの点はどうか。例えば、有志を募り、実行委員会を作り、新たな活動を促すこともよいと思うがどうか。</p>					
<p><b>2 健全な財政運営の推進について</b></p> <p>長期的で客観的な視点での歳入・歳出の財政分析や、新たな財源の確保、民間の多様な経営手法や政策を実現するための財務管理手法が必要となってくる。</p> <p>(1) 23年度の税収見通しについてはどうか。</p> <p>(2) 新年度は、公債費41億円、市債30億円とよい形になっている。これらのことをどうとらえているのか。</p> <p>(3) 扶助費等経常的な行政経費（ソフト面）と投資的経費（ハード面）の考え方と、その方向性はどうか。また、平成22年度と比較すると、人件費が約2億円増加している。このことを市長はどう感じているか。</p>					

- (4) 今後も継続した経費の節減が望まれる。今後の取り組みはどうか。また、さらなる行政サービスの質の向上については、どう取り組むのか。
- (5) 今後も自立した経営をお願いしたい。さらに質が高く、健全な財政運営をしていく必要性から、これらへの取り組み、その決意はどうか。

### 3 「子供の貧困」について

近年、「子供の貧困をなくす」ことが、世界中で叫ばれている。幼いころから、大人になってまでも続くコンプレックス。子供の貧困をどうとらえているのか、市として、どう向き合っていくのか、その取り組みは。

- (1) 世界の先進国の中で上位にある我が国の子供たちの貧困の現実を前に、市長はどうとらえているのか。どのような感想を持っているか。また、貧困の定義とは何か。
- (2) 「子供の貧困」が「教育格差」とも言われる現状をどう思うか。
- (3) 「母子家庭世帯への補助」を拡大して、「子供対策」として、考えてはどうか。市民の満足度とともに、子供の「幸福度」を推しはかっているか。
- (4) タイガーマスク現象も起きている。市としての「子供の貧困ゼロ」も提案するがどうか。国・県への働きかけは十分か。
- (5) 市として、子供の教育必需品の定義は万全か。税額控除や各種手当の見直しはどうか。子供の貧困、教育格差に対する、今後の対策とその取り組みはどうか。

### 4 市営墓地公園整備事業について

核家族化や少子化の進行などに伴い、市営墓地に対する需要が、年々高まっている。多様化するニーズにも的確にこたえてほしいと願う。経過とその取り組みは。

- (1) 墓地公園整備事業についての今日までの経過は。
- (2) 新年度、本格的に予算計上されているが、後期基本計画での取り組み内容と、その体制はどうか。
- (3) 地元地域との具体的な協議内容は。

質問順序	9	議席番号	2	質問者	竹原和義
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 農を活かしたまちづくりの推進について</b></p> <p>本市の約3割を占める農地はもとより、農を活かしたまちづくりとして、メロン、茶、米を中心とした豊富な農の資源に注目し、産業の振興はもとより、広い分野で生活の質を高めていくことが期待される。</p> <p>(1) 現事業は、農業を活かしたまちづくりで、農を活かしたものではない。農の分散型社会について伺う。</p> <p>(2) メロン、茶、米をどのように活かすのかについて伺う。</p> <p>(3) 6次産業をどのように推進するのかについて伺う。</p>					
<p><b>2 袋井市の健康診断について</b></p> <p>地方分権のもとをたどれば自治会分権、行政改革の一環として、地域の個性と活力を目的とした交付金の有効活用は、行政評価が期待される。</p> <p>(1) 合併以降、浅羽西地区における1,000万円以上の公共事業の有無について伺う。</p> <p>(2) 都市計画事業として、都市計画道路はどこに存在するのかについて伺う。</p> <p>(3) 浅羽西地区の公共下水道計画区域のうち、「特定環境保全公共下水道」の予定区域は何%となるのかについて伺う。</p> <p>(4) 都市計画税の合計額は幾らか、今後の都市計画事業の有無について伺う。</p> <p>(5) 「(仮称)地域活性化交付金」の創設について伺う。</p>					
<p><b>3 孟宗竹健康革命について</b></p> <p>「孟宗竹健康革命」(中央アート出版)・日下英元著が、2010年9月10日に刊行され、放置竹林の厄介物から孟宗竹を活用した宝の山への転換施策として、地域活性化の実現が期待される。</p> <p>(1) 健康ブランド袋井米について伺う。</p>					

質問順序	10	議席番号	9	質問者	兼子春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 新東名開通への対応について</b></p> <p>新東名高速道路が平成24年度に開通し、隣接には（仮称）森掛川インターチェンジが設置される。新東名は袋井市の発展に大きな影響を与えるものとする。</p> <p>(1) 本市として新東名の開通をどのようにとらえているか。  (2) 企業誘致、観光振興等、本市の発展にどのように結びつけていくか。  (3) 「（仮称）森・掛川インターチェンジ周辺基本構想」のように、秩序立った開発を行うため、本市としても北東部の土地利用構想を検討すべきと思われるかがか。  (4) 東西軸に加え、南北軸の整備を検討すべきでは。</p>					
<p><b>2 観光振興について</b></p> <p>新年度において「ふくろい ほっと観光プラン策定事業」が計画されているが。</p> <p>(1) 市としてハード事業も含めて、本市の観光をどのようにしようと考えているのか。  (2) どまん中ふくろいを観光の目玉にする考えは。また、袋井宿開設400年祭に向けどのような事業を考えているか。  (3) 久野城址を観光に結びつけるために西南端の「高見」に高見櫓を、また、治水対策を兼ねて東堀・西堀・南堀・北堀を復元する考えは。</p>					
<p><b>3 （仮称）歴史文化館の運営について</b></p> <p>浅羽支所の2・3階に（仮称）歴史文化館が開設されるが、具体的運営はどのようにされるのか。</p> <p>(1) その内容は。  (2) 所管はどこが行うのか。また、人員の配置は。  (3) 郷土資料館・近藤記念館と連携し、博物館的機能を持たせては。  (4) 専門の学芸員を配置し、古文書の解読、文書目録作成、歴史文書の収集・整理・閲覧・コピーができるようにされたい。  (5) 将来の市史発刊に向けて、旧村単位で「村史」作成の指導をされたい。</p>					

質問順序	1 1	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 にぎわいある観光の振興について</b></p> <p>地域における魅力を活かし、観光袋井市を全国に向けて発信することが、今後の観光産業につながる。</p> <p>(1) 地域資源を活かした町の魅力を発信し、観光交流をふやすために、一般市民を巻き込んだ観光を考える会を設け、袋井市のイメージアップが図られないか伺います。</p> <p>(2) 遠州三山への来場者減少傾向と伺っているが、このことについてどのように分析され、対応策を考えているのかお伺いします。</p> <p>(3) 観光客をふやすために、市内観光に土日自主運行バスを活用できないか伺います。</p> <p>(4) イベント（ふくろい遠州の花火等）を通して全国発信し、袋井市の知名度を図る策を検討し、経済効果を望むことができないか伺います。</p>					
<p><b>2 市内の生活保護世帯への支援について</b></p> <p>生活保護世帯が増加しているが、住みよいまちづくりを目指していくために、一人一人が自立しながら地域へ参加することが必要です。</p> <p>(1) 生活保護世帯（稼働年齢層）に対して、自立支援についてどのようにされようとしているのかお伺いします。</p> <p>(2) 生活保護費の適正な支給について、どのようにチェックされているのかお伺いします。</p> <p>(3) 袋井市の生活保護世帯が増加傾向にあるが、この問題について、どのように分析され対応策を検討されているのかお伺いします。</p> <p>(4) 袋井市として独自の生活保護専門（アドバイザー）委員を設け、保護世帯の支援をすることができないか提言をいたします。</p>					
<p><b>3 袋井市のスポーツを目指す</b></p> <p>日本一健康文化都市を目指し袋井市のスポーツとして取り入れる。</p> <p>(1) JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会が開催され、スローエアロビックが披露されたのを機会に袋井市全域に広めることができないかお伺いします。</p>					
<p><b>4 子供の安全・安心について</b></p> <p>子供の急病に的確な対応を図るために安全・安心対策を図る。</p> <p>(1) 子供の急病に的確に対応するために、ダイヤル#8000の周知徹底を図るために、小学校・幼稚園等を通して保護者に指導できないかお伺いします。</p>					

質問順序	12	議席番号	20	質問者	永田勝美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 農業問題</b></p> <p>TPPと農業政策</p> <p>(1) TPPの推進について</p> <p>ア TPPの推進は亡国の論理とも言われているが所見は。</p> <p>イ 自由化は世界の潮流とも言える。自給率向上とは相反する。袋井市農業の影響と今後の対策は。</p> <p>(2) 自由化と農産物輸出について</p> <p>ア TPPを逆手にとった輸出への所見は。</p> <p>イ 農産物輸出の販売会社設置の必要性について</p> <p>ウ こだわりの米づくりの支援と生物多様性の取り組み</p> <p>(3) 農業振興施策について</p> <p>ア 種目別の農業者数と後継者の状況</p> <p>イ 耕作放棄地の現状と対策</p> <p>ウ 若者就農対策として（仮称）後継者育成基金創設の考え方</p> <p>(4) 水資源涵養林保護対策と水質改善対策</p> <p>ア 水資源涵養林の外国資本買収の実態は。</p> <p>イ 上流下流地域の連携 国・県・市の対応</p> <p>ウ 用水の水質浄化策と今後の対応</p>					
<p><b>2 土地利用</b></p> <p>小山工業用地 小山地区西側土地利用について</p> <p>(1) 物流関連企業進出に伴う雇用創出と今後の税収効果</p> <p>(2) 小山地区西側 福祉施設設置に向けた取り組み、今後のスケジュールについて</p> <p>ア 平成26年度開業に向けて、第5期計画</p> <p>イ 農用地除外 転用計画</p> <p>ウ 道路拡幅計画と予算確保</p> <p>福祉施設設置と周辺土地利用について</p> <p>(3) 周辺福祉ゾーンとしての土地利用の考え方</p>					
<p><b>3 まちづくり</b></p> <p>高齢化率で見るまちづくりについて</p> <p>(1) 地域別高齢化率の現状と今後の推移</p> <p>(2) バランスのとれた高齢化率と弊害</p> <p>(3) 土地の規制緩和の必要性</p>					

質問順序	1 3	議席番号	1 4	質問者	高 木 清 隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p><b>1 「袋井を物流産業の一大拠点地域に」との提案について</b></p> <p>物流革新は、新時代の流通業最大のテーマであり、「物流を制する者が流通を制す」と言われている。</p> <p>(1) 国内外における物流サービスの現状について、どう把握されているのかを伺う。</p> <p>(2) 地域間物流の効率化に向けた、道路ネットワークの整備に向け、どう取り組んでいく考えなのかを伺う。</p> <p>(3) 物流拠点づくりに対する市としてのメリットを伺う。</p> <p>(4) 物流施策を総合的・計画的に推進するために「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」に基づく、総合効率化計画の策定と開発許可基準緩和に向けて、官民協働にて取り組む考えがあるのかを伺う。</p>					
<p><b>2 子育て支援について</b></p> <p>希望するすべての人が、安心して子供を預けて働くことができるサービスの受け皿の確保に向けて、量的拡充と提供手段の多様化への具体的な取り組みが必要である。</p> <p>(1) 平成22年度における待機児童解消策施策の成果と課題、問題点について伺う。</p> <p>(2) つくし保育園閉園の影響と施設跡利用の考えについて伺う。</p> <p>(3) 平成22年度に実施した袋井市乳幼児需要調査結果に基づき、利用者の立場に立った幼児教育の方向性と待機児童解消対策についての考え方について、また、具体的な保育全般の施策方針の策定時期について伺う。</p> <p>(4) 顕在化していない大きな潜在需要が存在するという新たな問題意識をもとに、新待機児童ゼロ作戦に沿った幼児教育施設整備計画が必要と考えるが、当局の考えを伺う。</p>					
<p><b>3 学校教育について</b></p> <p>学校現場では、不透明かつ変化の激しい環境の中で、特色ある地方教育行政への取り組みが求められているが、その前提として、教職員がその力量を十分に発揮できる体制づくりが課題である。</p> <p>(1) 小学校1年生・35人学級への対応について、新たに必要となる教員数、教室数について、また、正式決定された場合の対応について伺う。</p> <p>(2) 「中1ギャップ」解消に向けた、小学校における教科担任制導入における効果と課題について、また、導入の可否について伺う。</p> <p>(3) 教員における精神疾患での休職状況とその要因について、メンタルヘルス等の対応策と復職状況について伺う。</p> <p>(4) 学校評議員制度における設置状況と活動内容について、学校として学校評議員に期待する分野について、学校評議員制度の課題について伺う。</p>					